



2022年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月10日

上場会社名 コーア商事ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9273 URL <https://www.koashoji-hd.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 首藤 利幸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 小松 美代子 TEL 045 (560) 6607
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年6月期第2四半期の連結業績（2021年7月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年6月期第2四半期	10,355	21.0	2,167	36.0	2,146	30.6	1,397	24.1
2021年6月期第2四半期	8,558	16.3	1,593	75.6	1,643	80.4	1,126	81.9

(注) 包括利益 2022年6月期第2四半期 1,418百万円 (27.5%) 2021年6月期第2四半期 1,112百万円 (75.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年6月期第2四半期	35.28	—
2021年6月期第2四半期	28.42	—

(注) 1. 「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 2. 当社は、2020年11月6日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を、2021年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年6月期第2四半期	25,736	17,725	68.9
2021年6月期	24,804	16,703	67.3

(参考) 自己資本 2022年6月期第2四半期 17,725百万円 2021年6月期 16,703百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2022年6月期	—	0.00	—	—	—
2022年6月期（予想）	—	—	—	11.00	11.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：有
 配当予想の修正については、本日（2022年2月10日）公表いたしました「配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2022年6月期の連結業績予想（2021年7月1日～2022年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,550	4.1	3,430	1.6	3,420	0.4	2,060	△3.6	52.00

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年6月期2Q	39,619,980株	2021年6月期	39,619,980株
② 期末自己株式数	2022年6月期2Q	1,312株	2021年6月期	1,312株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年6月期2Q	39,618,668株	2021年6月期2Q	39,618,693株

(注) 当社は、2020年11月6日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を、2021年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
(追加情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、ワクチン接種等の効果によって新型コロナウイルス感染症拡大から回復の兆しがあったものの、2021年11月に初めて確認された新たな変異ウイルス「オミクロン株」による感染が拡大傾向になりつつあり、先行き不透明な状況が続いております。

後発医薬品業界におきましては、2025年には5人に1人が75歳以上になるという「2025年問題」を控え、2017年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2017～人材への投資を通じた生産性向上～」(骨太方針2017)により、ジェネリック医薬品使用割合80%の目標の達成時期を2020年9月までとされ、その実現に向け種々の使用促進策が実施されたことにより、薬局市場を中心にジェネリック医薬品の需要が伸長し、日本ジェネリック製薬協会の分析によれば、2021年7月～9月の後発医薬品の数量使用割合は79.2% (速報値) となり80%が間近に迫ってきております。その一方で、昨今において、後発医薬品全体で薬機法違反を起因とする品質面に關わる重大な問題が相次いだことにより、供給不安が発生しております。このため「経済財政運営と改革の基本方針2021 (骨太方針2021)」では後発医薬品の新目標について「後発品の品質や安定供給の信頼性の確保を柱とし、官民一体で、製造管理体制強化や製造所への監督の厳格化、市場流通品の品質確認検査などの取り組みを進める」と書き加えた上で、「2023年度までに数量シェアを全ての都道府県で80%以上とする」と示されました。

また、2021年度から薬価改定が毎年度行われることとなり、2021年12月3日に開催された中央社会保険医療協議会・総会で2021年度における薬価と市場実勢価格との平均乖離率 (速報値) は約7.6%、乖離率を投与形態別に見ると、内用薬8.8%、注射薬5.6%、外用薬7.9%、歯科用薬剤△2.4%と報告がなされました。当社グループの医薬品製造販売事業の特徴である注射剤においては市場実勢価格との乖離率は低く、中でもジェネリック医薬品への置換えが比較的進んでいない高薬理活性注射剤製造に注力するとともに、一層の生産性向上に努めております。

このような事業環境の中で、当社グループは、経営方針“New Business Model Innovation”に基づき、ジェネリック医薬品原薬の輸入商社と、注射剤中心の医療用医薬品の製造販売機能を併せもつビジネスモデルで、高品質で安価な原薬を日本市場に安定的に供給するとともに、自社開発品の製造・販売や大手医薬品メーカーからの製造受託を通じて、医薬品業界における多様なニーズに対応しております。当社グループとしては、医薬品製造従事者として法令遵守、更なる品質管理徹底を目的に、日本ジェネリック製薬協会が発出したGE薬協発第25号通知 (令和3年3月25日付)「ジェネリック医薬品の信頼性確保に関する対応について」に基づきグループ各社で製造販売承認書と製造実態の齟齬にかかる一斉点検の実施や、グループ会社間における無通告監査 (抜き打ちの立入監査) を実施する等品質管理や製造管理をより一層徹底しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高10,355百万円 (前年同期比21.0%増)、営業利益2,167百万円 (前年同期比36.0%増)、経常利益2,146百万円 (前年同期比30.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,397百万円 (前年同期比24.1%増) となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

原薬販売事業

原薬販売事業におきましては、腫瘍用薬や中枢神経系用薬向け原薬の販売が増加し、感覚器官用薬向け原薬等の販売の減少があったものの、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,430百万円 (前年同期比21.4%増)、セグメント利益は1,285百万円 (前年同期比15.0%増) となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高964百万円を含んでおります。

医薬品製造販売事業

医薬品製造販売事業におきましては、受託製造が引き続き堅調に推移したため、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,888百万円 (前年同期比18.9%増)、セグメント利益は862百万円 (前年同期比78.0%増) となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

総資産は25,736百万円となり、前連結会計年度末に比べ932百万円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加683百万円、電子記録債権の増加645百万円、原材料及び貯蔵品の増加100百万円があった一方で、当社株式の配当金の支払や法人税等の納付による現金及び預金の減少373百万円、商品及び製品の減少105百万円等があったことによるものであります。

負債は8,010百万円となり、前連結会計年度末に比べ90百万円減少いたしました。これは主に、未払消費税等を含む流動負債のその他の減少184百万円、長期借入金の減少174百万円があった一方で、電子記録債務の増加139百万円、支払手形及び買掛金の増加112百万円等があったことによるものであります。

純資産は17,725百万円となり、前連結会計年度末と比べ1,022百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益1,397百万円の計上による増加があった一方、配当金支払により396百万円減少したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末より1.5ポイント増加し、68.9%となっております。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ386百万円減少し、7,203百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は440百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2,146百万円、減価償却費332百万円があった一方で、売上債権の増加額1,328百万円、法人税等の支払額682百万円等があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は264百万円となりました。これは主に、固定資産の取得による支出248百万円等があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は576百万円となりました。これは主に、配当金の支払額395百万円、長期借入金の返済による支出167百万円等があったことによるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年6月期の連結業績予想につきましては、2021年8月11日に公表いたしました予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,261,630	7,887,807
受取手形及び売掛金	3,801,303	4,484,721
電子記録債権	3,344,714	3,989,987
商品及び製品	1,559,052	1,453,399
仕掛品	273,610	372,321
原材料及び貯蔵品	303,022	403,528
その他	109,230	123,329
流動資産合計	17,652,563	18,715,094
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,781,898	4,842,635
減価償却累計額	△1,968,093	△2,061,026
建物及び構築物 (純額)	2,813,805	2,781,609
機械装置及び運搬具	3,527,857	3,680,435
減価償却累計額	△1,547,376	△1,718,026
機械装置及び運搬具 (純額)	1,980,481	1,962,408
工具、器具及び備品	1,191,049	1,248,172
減価償却累計額	△983,418	△1,022,111
工具、器具及び備品 (純額)	207,630	226,060
土地	1,761,774	1,761,774
建設仮勘定	69,670	7,507
有形固定資産合計	6,833,361	6,739,359
無形固定資産		
その他	74,598	63,942
無形固定資産合計	74,598	63,942
投資その他の資産		
投資有価証券	76,978	70,095
繰延税金資産	126,905	111,278
退職給付に係る資産	28,212	25,120
その他	12,007	11,762
投資その他の資産合計	244,103	218,256
固定資産合計	7,152,063	7,021,558
資産合計	24,804,627	25,736,652

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,587,745	1,699,767
電子記録債務	642,452	782,040
短期借入金	850,000	850,000
1年内返済予定の長期借入金	383,248	390,582
未払法人税等	708,399	741,106
賞与引当金	52,180	35,932
その他	857,818	673,274
流動負債合計	5,081,844	5,172,703
固定負債		
長期借入金	2,641,096	2,466,144
繰延税金負債	6,395	6,470
役員退職慰労引当金	110,882	117,359
退職給付に係る負債	126,322	127,100
その他	134,361	120,980
固定負債合計	3,019,058	2,838,054
負債合計	8,100,903	8,010,757
純資産の部		
株主資本		
資本金	522,277	522,277
資本剰余金	205,828	205,828
利益剰余金	15,957,540	16,958,932
自己株式	△376	△376
株主資本合計	16,685,270	17,686,661
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,453	12,621
繰延ヘッジ損益	—	26,611
その他の包括利益累計額合計	18,453	39,233
純資産合計	16,703,724	17,725,895
負債純資産合計	24,804,627	25,736,652

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)
売上高	8,558,918	10,355,258
売上原価	5,886,447	7,196,762
売上総利益	2,672,471	3,158,496
販売費及び一般管理費	1,079,221	991,388
営業利益	1,593,249	2,167,107
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,129	2,372
為替差益	24,561	24,334
有価証券売却益	6,973	—
受取手数料	10,006	8,071
補助金収入	6,518	2,566
受取補償金	9,601	350
その他	2,780	585
営業外収益合計	62,570	38,279
営業外費用		
支払利息	12,355	6,757
和解金	—	16,000
自主回収関連費用	—	34,953
その他	215	1,362
営業外費用合計	12,570	59,074
経常利益	1,643,249	2,146,313
税金等調整前四半期純利益	1,643,249	2,146,313
法人税、住民税及び事業税	461,623	744,159
法人税等調整額	55,592	4,575
法人税等合計	517,216	748,735
四半期純利益	1,126,033	1,397,578
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,126,033	1,397,578

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	1,126,033	1,397,578
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,609	△5,831
繰延ヘッジ損益	△1,313	26,611
その他の包括利益合計	△13,922	20,779
四半期包括利益	1,112,110	1,418,357
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,112,110	1,418,357

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,643,249	2,146,313
減価償却費	283,232	332,889
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△526	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△17,670	△16,248
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	6,020	6,476
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	3,224	3,092
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2,234	777
受取利息及び受取配当金	△2,129	△2,372
支払利息	12,355	6,757
補助金収入	△7,538	△2,566
和解金	—	16,000
為替差損益 (△は益)	5,562	△13,129
固定資産除売却損益 (△は益)	△64	248
売上債権の増減額 (△は増加)	△15,400	△1,328,691
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△185,646	△91,866
仕入債務の増減額 (△は減少)	278,827	251,609
投資有価証券売却損益 (△は益)	△6,973	—
未収入金の増減額 (△は増加)	△54,131	8,185
その他	△215,039	△180,151
小計	1,729,588	1,137,324
利息及び配当金の受取額	4,192	4,546
利息の支払額	△11,024	△6,401
補助金の受取額	7,857	3,523
法人税等の支払額	△592,158	△682,901
法人税等の還付額	39,654	—
和解金の支払額	—	△16,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,178,109	440,090
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	15,770	—
固定資産の取得による支出	△71,256	△248,372
固定資産の売却による収入	115	—
定期預金の預入による支出	△113,576	△79,011
定期預金の払戻による収入	100,573	66,010
その他	△2,592	△2,652
投資活動によるキャッシュ・フロー	△70,965	△264,025
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△136,666	△167,618
自己株式の取得による支出	△70	—
配当金の支払額	△336,287	△395,294
その他	△8,769	△13,105
財務活動によるキャッシュ・フロー	△481,793	△576,018
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,562	13,129
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	619,788	△386,823
現金及び現金同等物の期首残高	5,430,414	7,590,119
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,050,202	7,203,295

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

なお、「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2021年3月26日)第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転されるまでの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金の当期首残高へ与える影響はありません。また、当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年7月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	原薬販売事業	医薬品製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,287,247	3,271,671	8,558,918	—	8,558,918
セグメント間の内部売上高 又は振替高	831,584	—	831,584	△831,584	—
計	6,118,832	3,271,671	9,390,503	△831,584	8,558,918
セグメント利益	1,117,407	484,566	1,601,973	△8,724	1,593,249

(注) 1. セグメント利益の調整額△8,724千円は、セグメント間取引の消去及び全社費用であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2021年7月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	原薬販売事業	医薬品製造販売 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	6,466,782	3,888,476	10,355,258	—	10,355,258
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	6,466,782	3,888,476	10,355,258	—	10,355,258
セグメント間の内部売上高 又は振替高	964,102	—	964,102	△964,102	—
計	7,430,885	3,888,476	11,319,361	△964,102	10,355,258
セグメント利益	1,285,366	862,347	2,147,713	19,394	2,167,107

(注) 1. セグメント利益の調整額19,394千円は、セグメント間取引の消去及び全社費用であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

なお、当該変更による事業セグメントの売上高及びセグメント利益に与える影響はありません。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用)

当社及び連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(2020年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。